

- ① 後の□内のひらがなを漢字になおして、対義語（意味が反対のことば）・類義語（意味がよく似たことば）を書きましよう。

□の中のひらがなは一度だけ使い、漢字一字を書きましよう。

対義語

類義語

- | | |
|----------|-----------|
| ① 義務―（ ） | ⑤ 理由―（ ） |
| ② 過去―（ ） | ⑥ 方法―手（ ） |
| ③ 楽観―（ ） | ⑦ 重要―重（ ） |
| ④ 生産―（ ） | ⑧ 体験―（ ） |
| 費 | 験 |

み・げん・だん・けい・ひ・しょう・だい・けん

- ② 漢字の読みには音と訓があります。次の熟語の読みは□の中のどの組み合わせになっていますか。
アゝエの記号で答えましよう。

ア 音と音 イ 音と訓 ウ 訓と訓 エ 訓と音

- | | |
|----------|----------|
| ① 砂 地（ ） | ② 重 箱（ ） |
| ③ 格 安（ ） | ④ 受 付（ ） |

- ③ 漢字を二字組み合わせた熟語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの。
イ 反対または対応の意味を表す漢字を重ねたもの。
ウ 上の字が下の字の意味を修飾しているもの。
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

（例…岩石）
（例…高低）
（例…直線）
（例…着席）
（例…非常）

次の熟語は、右のアゝオのどれにあたるか、記号で答えましよう。

- | | |
|----------|----------|
| ① 無 理（ ） | ② 洗 車（ ） |
| ③ 寒 暖（ ） | ④ 幼 児（ ） |

- ④ 後の□の中から漢字を選んで、次の意味にあてはまる熟語を作りましよう。

〈例〉 本を読むこと。

読書

- | |
|--------------------|
| ① 生活や行いのもとになるきまり。 |
| ② 順番に見てまわすこと。 |
| ③ 持っている力をおもてに出すこと。 |
| ④ 短くてよくまとまっている様子。 |

律・表・揮・潔・回・規・覧・会・発・簡

*対象級／5A、5B、5C
*このような形式で出題されますので、
ご家庭での漢字学習の参考にご利用ください。

- ⑤ 次の漢字の総画数と部首名を答えましよう。

総画数

部首名

① 骨（ ）

② 宙（ ）

- ⑥ 次の漢字の部首と部首名を答えましよう。

部首

部首名

① 我（ ）

② 困（ ）

- ⑦ 次の漢字の太い画のところは、筆順の何画目か、また部首名を答えましよう。画数は算用数字で答えましよう。

何画目

部首名

① 誠（ ）

② 背（ ）

- ⑧ 次のカタカナを漢字になおし、一字だけ書きましよう。

① リン時休校（ ）

③ 明口ウ快活（ ）

- ⑨ 次の――線の漢字の読みをひらがなで書きましよう。

① 今年の冬は寒さが厳しい。（ ）

② インコが卵を産む。（ ）

③ データを保存する。（ ）

- ⑩ 次の――線のカタカナをそれぞれ漢字になおましよう。

また、送り仮名がある場合は、送り仮名も書きましよう。

① 午後七時には店をトジル。（ ）

② 説明不足をオギナウ。（ ）

③ 二人のコキユウを合わせる。（ ）

④ 友からチュウコクされた。（ ）

- ⑪ 次の――線のカタカナをそれぞれ漢字になおましよう。

① 都会にはコウソウビルが多い。（ ）

② 作文のコウソウを練った。（ ）

③ ここは立ち入りキンシだ。（ ）

④ キンシになって字が見えにくい。（ ）

⑤ 美術館にはタイサクが並ぶ。（ ）

⑥ 水害のタイサクが必要だ。（ ）